

日本共産党

救援活動に全力！

日本東大震災

「ブロック塀が倒れた」「屋根瓦が落ちた」… 地震発生直後から調査・救援活動

11日の地震発生直後から、日本共産党は市内各地で、被害調査を開始しました。4軒のブロック塀が倒壊した東部地域では、壊れた塀を当局に要請し撤去。他の地域でも、屋根瓦が落ちた民家にブルーシートを提供させるなど救援活動に取り組みました。

また、余震が続くなか、夜9時過ぎまで、一人暮らしのお年寄りや車イスの障がい者などを訪問し励ましました。
13日からは駅やスーパー前など市内7か所で募金活動を開始。若者を中心に多くの方から募金が寄せられました。

14日に震災対策で緊急の申し入れ

日本共産党市議団は、電話連絡もできない状況の中、各議員が市内各地をまわり被害状況を調査。寄せられた市民要望を集約し、14日（月）9時半に「震災についての申し入れ」を市長に提出しました。防災無線の確保、広報車の活用など広報活動の強化、家屋の修復・耐震化のためのリフォーム助成の実施など10項目にわたります。

予算委で震災問題を取り上げたのは共産党だけ

14日午後におこなわれた予算委員会では、質問時間半近くを震災対策に…。
「申し入れ」にそって、取り組みの強化を強く求めました。



日本共産党流山市震災対策本部を設置 救援・支援活動に全力でとりくみます

日本共産党流山市委員会は15日、震災対策本部（責任者いぬい紳一郎市議団長）を設置しました。ガソリンや食料不足、原発被害の影響など、市民への情報提供、市民要望の行政への反映、さらに、被災地への救援活動などに、全力でとりくみます。一緒に、この危機を乗り越えましょう。



南流山駅南口での救済募金活動（13日）

●救援募金にご協力ください
●お困りごと、ご要望をお寄せください

日本共産党

市議会議員

いぬい紳一郎



流山民報

2011年3月号外

発行 日本共産党流山市委員会
連絡先 いぬい紳一郎事務所 TEL7157-6140